



▲大学生がまちの中でフィールドワーク

▶ようやく長い梅雨も明け、いよいよ夏真っ盛り。太陽に向かってまっすぐ伸びるひまわりに毎日元気をもらっています。毎年この頃になるとよみがえる淡い記憶。甲子園をめざし、白球を追い続けた若かりし頃...あの夏流した汗と涙、嬉しかったこと、悔しかったこと...思い出ってステキですね。みなさまもこの夏、いつまでも心に残るような琴線に触れる経験をされますよう願っています。

▶近年、ますます価値観やライフスタイルが多様化する中で、年齢や性別、障がいのあるなし、国籍などにに関わりなく違いを認め合い、みんなが共生できるまちづくりを進めなければなりません。播磨町では、すべての方の人権が尊重されるまちの実現をめざして、今年度検討委員会を設置し、人権尊重条例(仮)の制定について検討します。「人権文化をすすめる町民運動」推進強化期間であるこの時期に、みんなが笑顔で暮らすためにはどうすればいいか、みなさまと一緒に考えてみませんか。8月4日には「共に生きようふれあいのまち」映画会も開催されます。一人ひとりが人権について考え、行動を起こすきっかけとなることを心から願います。

▶兵庫県立大学の学生さんたちが若者の居場所づくりや空き家対策をテーマに、播磨町でフィールドワークを実施しました。実際にまちを歩き、現地を直接取材した経験は、今後社会に踏み出す時に必ず役に立つと思います。若い学生が取材中に、元気にあいさつしてくれることで、まちも活気づきます。今回の演習の成果の一部を今月号の広報はりまにも掲載していますので是非ご覧ください。

▶7月27日の東部コミセンを皮切りに「みんなで、語ろうはりまのこと」と題し、各コミセンでオープンミーティングを開催します。詳しくは広報はりま7月号裏表紙、または町公式ホームページをご確認ください。今後のより良いまちづくりのために、行政と住民が一緒になって次の世代のことを考え、未来に向かって夢を語りましょう。みなさまとお会いできることを楽しみにしています。

▶これからますます暑くなり、海やプールなどで遊ぶのが楽しい季節ですが、くれぐれも水の事故にはご注意ください。

播磨町長 佐伯 謙作



保健師だより おじいさんですか？

集中力の基本は「姿勢」から！

～就学前のお子さんがあるご家庭の方へ～

幼稚園や保育園、こども園の先生から、座る姿勢が崩れやすいお子さんが増えているという話を聞きます。姿勢が崩れやすい原因として、身体を支える体幹が弱いことと、座るイスのサイズが合っていないことがあります。座る姿勢が悪くなると、食事やお絵描きなど机で行うことに對して集中力が途切れやすくなります。あなたのお子さんはどうですか？無理のない範囲で、体幹を支える力を伸ばしていきましょう。

- 遊びの中で体幹を育てましょう
- 外遊び ブランコ・滑り台・ジヤングジムなど
- 机とイスの高さを調整しましょう
- 机の高さは座ったときに、おへそが当たるくらい
- 椅子の高さは膝が90度に曲がるくらい
- 足底が床や踏み台にしっかりとつく
- 食べ始めたり、描き始める前にイスの奥までお尻をしっかりと下げて、深く座ってからスタートしましょう

●コロナ禍の影響もあり、運動不足のお子さんが増えています。熱中症に気を付けながら、できるときにはしっかりと外遊びをしましょう。

体幹の弱さ以外にも、子育ての中でちよつと聞いてみたいこと、相談したいことなどがあればぜひ播磨町役場のこども課までご連絡ください。お子さんの成長や子育てについて、一緒に考えていきましょう。

問 こども課
☎079-435-0366

楽屋裏

昭和の小学生。泳げなかった私は、学校の授業で落ちこぼれ、夏休みの補習授業に参加しました。大勢で列になって、号令にあわせて平泳ぎの手の動きを練習する授業。「イチ、ニイ、サン、プアー」で息継ぎをする練習を毎日毎日。夏休みなのに：楽しくなかなかったです。

7月25日から、播磨小学校と連池小学校のプールが一般開放されます。大人も子どもも授業じゃないので、楽しく泳ぐことができます。ホームページを確認して、お出かけしてみてください。



学校プール一般開放

播磨南小学校

一心同体『はあと』輝く運動会

6月1日、晴天に恵まれ、第42回運動会が行われました。コロナ禍以来久しぶりの全校生そろっての運動会。「一心同体」「はあと」輝く運動会」をスローガンに、保護者や地域の方々の声援の中、練習の成果を発揮することができました。



▲ビシッとキメた南小ソーラン



◀堂々と高らかに選手宣誓

低学年のかわいいダンスと玉入れ。中学年のカッコいい南小ソーランと、チームワーク第一のぐるぐるタイフーン。高学年のフラッグを駆使した表現活動、手に汗握る気合の綱引き。各学年、一人ひとりが真剣なまなざしでゴールに向かった徒競走。6年生は、一人一役、応援団や準備演技係等で、最高学年としての自覚を胸に、頑張る姿を満天下に示してくれました。仲間とともにやり遂げた達成感や、みんなの頑張りを目の前で応援できた感動が南小を包み込みました。そして、応援していただいたみなさんへの感謝で一杯の運動会となりました。

対話で作り上げるこれからの公共施設

播磨町では協働のまちづくりを進める一つの手法として、対話を通じたまちづくりを推進しています。色んな場面で、多様な町民で対話できる環境をつくっています。公共施設の運営についても対話を通じて創り上げていく動きが始まっています。

先日、中央公民館で「おしゃべり場」みんなでつくっていき中央公民館」が開催されました。これは、中央公民館の指定管理者であるNPO法人ニュー☆ハリマ・シミズシイズ共同事業体が企画したイベントで、みんなが話し合いをしながら「これからの中央公民館」を考える内容でした。当日は、私から社会教育施設の役割や播磨町の現状を紹介し、さらに中央公民館スタッフからこれからの中央公民館で目指したい姿について話題提供がありました。その後は、参加者で「みんなで作っていき公民館、どんなことができそう？」として意見交換がすす



▲おしゃべり場の様子

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする

まちアド通信

協働推進課住民協働係
☎079-435-2364